

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 若年発症の後天共同性内斜視の治療</p> <p>●研究の対象 2019年11月から2023年12月に当院で後天共同性内斜視に対して斜視手術を行った5歳から35歳の患者</p> <p>●研究の目的 近年、後天共同性内斜視（Acquired comitant esotropia 以下 ACE）はデジタルデバイスの過剰使用が関連しているとの報告があります。治療はデジタルデバイスの使用を減らすほかには、眼鏡、ボツリヌス治療、斜視手術が選択されます。後天共同性内斜視の手術治療により視機能がどのように回復するかはまだ確立されていないため、その術後予後と影響を与える因子を明らかにすることを目的とします。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2028年12月末日まで</p> <p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：主訴、疾患名、検査結果、手術方法、治療経過 等</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 眼科学講座 彦谷明子</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有す</p>	<p>浜松医科大学 眼科学講座 彦谷明子</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>る者の氏名又は名称≫</p>	
<p>≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>≪資料の入手または閲覧≫</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>≪情報の開示≫</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>≪問い合わせ先≫</p>	<p>〒431-3192                  浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号                  浜松医科大学</p> <p>部署名： 眼科</p> <p>担当者： 彦谷明子</p> <p>TEL： 053-435-2656</p> <p>E-mail： ahikoya@hama-med.ac.jp</p>